

見本

ワークで学ぶ 

子育て 支援

菊地 篤子
金 瑛珠
[編]

見本

もくじ

はじめに

第 1 編

子育て支援の概論

第 1 章

現代の子育て環境と子育て支援

- ✿ 第 1 節 子ども・子育てを取り巻く社会状況 …… 14
 - 1 子育てに必要なこととは 14
 - 2 子育てに関する社会的背景 16
 - 3 子ども・子育てに関する経験や知識の希薄化 20
- ✿ 第 2 節 子育て支援とは …… 22
 - 1 子どもの健やかな育ちのための子育て支援 22
 - 2 子育てをする親への支援 23

第 2 章

子どもの権利に基づいた子育て支援

- ✿ 第 1 節 子どもの最善の利益の尊重 …… 25
- ✿ 第 2 節 子育て支援を担う保育者 …… 29
 - 1 保育士の職務 29
 - 2 子育て支援を担う保育者の立場 29

第 3 章

保育者が行う子育て支援の基本的事項

- ✿ 第 1 節 保育者が行う子育て支援 …… 32
 - 1 保育者の職務について 32
 - 2 保護者に対するさまざまな子育て支援 35
- ✿ 第 2 節 全国保育士会倫理綱領と子育て支援 …… 37



見本

第4章

保育者の行う子育て支援の特性

- ✿ 第1節 子どもの保育とともに行う保護者の支援 41
 - 1 保育現場での子どもの姿を軸にした保護者理解と支援の考え方 41
 - 2 地域性や生活背景を考慮した柔軟な子育て支援 44
- ✿ 第2節 日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成 47
 - 1 日常的なやりとりで育まれる保護者との関係性 47
 - 2 保育者による保護者理解と保護者による保育への理解 49
- ✿ 第3節 保護者や家庭の抱える支援ニーズへの気づきと多角的な理解 50
 - 1 保護者の多様さへの理解と多様な支援の必要性 50
 - 2 当事者が気付かない支援ニーズへの気づき 50
- ✿ 第4節 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供 53
 - 1 子育て家庭と多様な他者との関係の希薄化 53
 - 2 保育活動中のさまざまな機会や場 54
 - 3 地域交流の機会と地域の子育て支援に関する情報の提供 54

第5章

保育者に求められる相談援助の視点

- ✿ 第1節 保育分野における相談援助の重要性と基本的態度 60
 - 1 保育と相談援助（ソーシャルワーク） 60
 - 2 エンパワメントの意義と課題 61
 - 3 ストレングスとは 61
 - 4 バイステックの7原則とは 62
- ✿ 第2節 保育専門職に求められるカウンセリング等の技術 65



見本

- 1 面接する際の技術と留意点 65
- 2 面接する際の距離感と環境の設定 67

✿ 第3節 保育者に求められる倫理的配慮・秘密保持	70
---------------------------	----

第6章

保育者の行う子育て支援の展開過程

✿ 第1節 子どもおよび保護者の状況把握	74
1 状況を把握するときの考え方	74
2 状況把握の技術や方法	75
✿ 第2節 支援計画と環境の構成	79
1 支援計画の意義	79
2 支援計画の立て方、長期目標と短期目標	80
3 環境の構成（人的環境、物的環境、空間的環境）	80
✿ 第3節 支援の実践と記録・評価・カンファレンス	83
1 支援を行う際の視点	83
2 支援の柔軟性、責任の分担	84
3 記録の意義と考え方	84
4 評価の意義と考え方	87
5 カンファレンスの意義と方法	88

第7章

職員間の連携・協働

✿ 第1節 保育における連携・協働の意義	89
1 子育て支援の場で行う連携・協働とは	89
2 チームアプローチを生かした子育て支援の効果	90
✿ 第2節 連携・協働の実際	91
1 保育者間の連携・協働	91
2 他の専門職や職員との連携・協働	93
✿ 第3節 効果的な連携・協働のために	94
1 連携・協働の方法と工夫	94
2 連携・協働を保育の質に反映させるための課題	95



見本

第8章

社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働

✿ 第1節 子ども・子育てに関わる社会資源 …… 97

- 1 社会資源とは 97
- 2 フォーマルな社会資源とその特徴 98
- 3 子ども・子育てに関わる専門機関 98
- 4 子ども・子育てに関わる専門職 99

✿ 第2節 保育者と他の社会資源との連携 …… 100

- 1 社会資源の特性を生かした連携 100
- 2 保育施設・保育者の特性と連携 102

✿ 第3節 連携における配慮 …… 103

- 1 プライバシーへの配慮と主体性 103
- 2 それぞれの役割の明確化 103
- 3 保育者による資源の活用と子育て支援を担う者としての姿勢 104



第2編

子育て支援の実際

第9章

地域の子育て家庭に対する支援

- ✿ 第1節 地域の子育て支援における保育者の専門性 108
 - 1 保育所の専門性を生かした地域の子育て支援 108
 - 2 保育者に求められる役割 109
- ✿ 第2節 保育所等が展開する地域の子育て支援 110
 - 1 保育所等で実施している子育てに関する事業等 110
 - 2 地域子育て支援拠点事業の実践例：子育て支援センター「文教おやこ園」 114
- ✿ 第3節 子育て支援の実際 119

第10章

障害のある子ども及びその家庭に対する支援

- ✿ 第1節 障害のある子どもの理解 122
 - 1 障害に関する基本的な考え方 122
 - 2 障害のある子どもを養育する家庭に対する支援 125
 - 3 障害のある子どもを養育する家庭への支援における配慮事項 128
- ✿ 第2節 子育て支援の実際 129



見本

第11章

特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援

- ✿ 第1節 特別な配慮を要する子どもとその家庭の理解136
 - 1 特別な配慮を要する子どもとは 136
 - 2 保育における「気になる子」とは 137
 - 3 特別な配慮を要する子どもを養育する家庭に対する支援 139
- ✿ 第2節 子育て支援の実際142

第12章

要保護児童等の家庭に対する支援

- ✿ 第1節 要保護児童と要保護児童対策地域協議会150
 - 1 要保護児童とは 150
 - 2 要保護児童対策地域協議会とは 151
 - 3 保育所の特性を生かし、地域と連携をしながら進める支援 152
- ✿ 第2節 子育て支援の実際153

第13章

子ども虐待の予防と対応

- ✿ 第1節 子ども虐待とは163
 - 1 子ども虐待の定義と虐待による子どもへの影響 163
 - 2 子ども虐待の背景 164
- ✿ 第2節 子ども虐待における保育現場の役割165
 - 1 予防と早期発見 165
 - 2 保育所の体制 168
 - 3 関係機関との連携 168
- ✿ 第3節 子育て支援の実際169



第14章

多様なニーズを抱える子育て家庭の理解

- ✿ 第1節 保育者が対応する子育て家庭の「多様なニーズ」……………177
 - 1 個別的支援が必要なニーズを抱える子育て家庭 177
 - 2 保育者として多様なニーズを抱える子育て家庭を支援する際の姿勢 183
- ✿ 第2節 子育て支援の実際 ……………184

終章

子育て支援のまとめと展望

- ✿ 第1節 保護者が担うべき子育て支援 ……………191
 - 1 社会の変化に伴う家族形態の変化 191
 - 2 子ども虐待の増加 192
 - 3 子どもの貧困 193
- ✿ 第2節 「子育て支援」において改めて考えてみたいこと ……………194
 - 1 「人と向き合う」とは 194
 - 2 「人を支える／支援する」とは 194
- ✿ 第3節 子育て支援のまんなか ……………195



見本

本書を活用される教員のみなさまへ

本書をご利用いただく際には、各章に設けたワークの解説が記載されております「ワーク解答例」をご活用ください。「ワーク解答例」は PDF 形式で弊社ホームページの「書籍サポート」からダウンロードいただけます(無料)。「指導者用解説書等ダウンロード申し込みフォーム」からお申し込みください。

みらいホームページ : <https://www.mirai-inc.jp/> → 「書籍サポート」

見本



第 1 編

子育て支援の概論



現代の子育て環境と 子育て支援

第 1 節 子ども・子育てを取り巻く社会状況

1 ——— 子育てに必要なこととは

あなたは「子育て支援」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか。保育サービスや子どもの遊び場の提供でしょうか、育児ストレスなどに対する相談支援でしょうか。または、給付金などを含む行政のさまざまな政策でしょうか。

今も昔も、子どもの発達のおおまかな道筋は変わるものではありませんが、科学の進歩や新しい知見などを受け、子どもや子育ての捉え方、考え方は変化を続けています。また、育てる側である保護者の社会的立場や生活地域など、子育てをする当事者が身を置く環境によっても、さまざまな子育て状況が生み出されます。それはつまり、保護者への支援も、それぞれの事情によってさまざまということになるでしょう。



次の事例を読んで以下の設問について考えてみましょう。

事例：夫婦だけで子育てはできる？

大学で保育学を学んでいる A さんは、ある日 A さんのお兄さん（26 歳）と次のような会話をしました。

兄：〇〇（兄の友人の名前）が結婚して、もうすぐ子どもが生まれるんだって。親元を離れていて、自分たちだけで育てるって言っているんだ。



大変だよな。

A：そうなんだ！ ○○さん、パパになるんだね。夫婦だけで子育てって大変だけど、今はいろいろなサービスがあるのよ。

兄：へえー、そうなんだ。俺、将来結婚したら、ここ（自分が生まれ育った家）に住みたいんだよな。子どももほしいな。子どもができて、母さんがいるから大丈夫だよな。

A：ふーん、ここで子育てしたいのね。でも、お母さんが今みたいにまだ仕事しているかもしれないわよ。

兄：ああ、そうか。それじゃ、ここで子育てするのは難しいか……。

A：そうとも限らないわよ。親に頼るだけじゃなくて、この地域だっていろいろなサービスがあるはずだから、一度調べてみたら？ でも、そもそも子育てって何をするのか分かっている？ やることはたくさんあるし、考えなくちゃならないことも次々に起こるし、自分のペースで動けないし……。とにかく今とは全然違う生活になるのよ。

兄：それはそうだろうけど…。調べるって何を……？

① Aの兄の立場だったら、どのようなことを調べるべきだと思いますか。書き出しながら話し合ってみましょう。

②次に挙げる地域の資源について、自分の住んでいる地域（またはゆかりのある地域など）を想定して、施設数や場所などを実際に調べてみましょう。

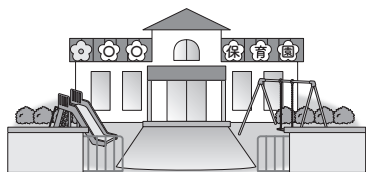
ア 保育・幼児教育施設（幼稚園・保育所・認定こども園・小規模保育や病児保育など）

イ 小児科などの病院や保健センター

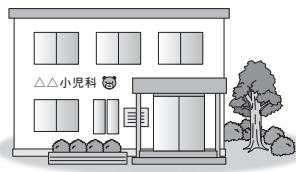
ウ 子育て支援サービス（子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター事業など）

エ 公園など外遊びができる場所

ア



イ



ウ



エ



見本

子育てのためには、ワーク1の①・②で調べたような情報や知識以外に、育てる側である保護者の心身の健康や精神的・経済的な自立も大切な要素として挙げられます。このように、さまざまなことを考えるうちに、事例のように、「子どもはほしい、でも不安」そんな思いを抱くようになるのは無理ありません。そのような思いを抱く要因は、現代の子育てを取り巻く日本社会全般にあります。

2 ——— 子育てに関する社会的背景

近年、日本の子どもや子育てに関する話題や課題として、さまざまな事柄が挙げられています（図1-1）。実際に統計からその実態をつかむこともできます。

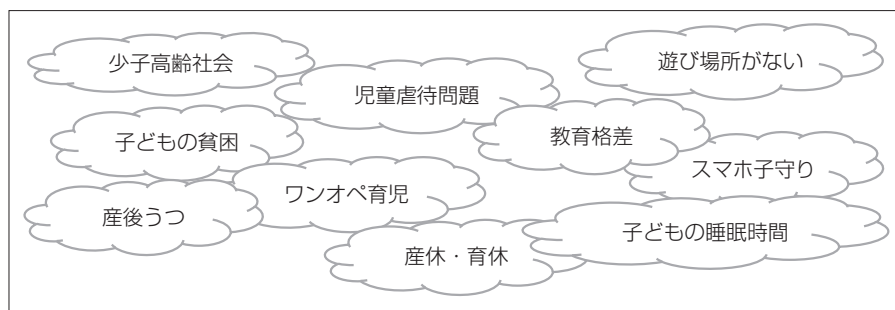


図1-1 子どもを取り巻くさまざまな話題や課題



図1-1の話題の中から興味がある課題や話題をいくつか取り上げ、その内容を調べましょう。また、数人のグループで、調べた内容や気付いたことについて共有しましょう。



現代の日本社会は、高齢者（65歳以上）人口割合の増加と同時に年少（0～14歳）人口割合の減少が続いていて、少子高齢化が加速していることが分かります（図1-2）。また、この30年ほどで、核家族の子育て世帯（親と未婚の子のみの世帯）の割合が増加するとともに、三世帯世帯の割合が大きく減少しています。（図1-3）。さらに、共働き世帯割合が増加し続けており（図1-4）、このことは、保育所等の利用率の上昇にもつながっています（図1-5）。また、家事や育児などの家庭内労働を誰がどのように担うのか、という課題にも直結した課題になっているといえます。実際に、子育てについては、女性がその多くを担っていることが分かります（図1-6）。

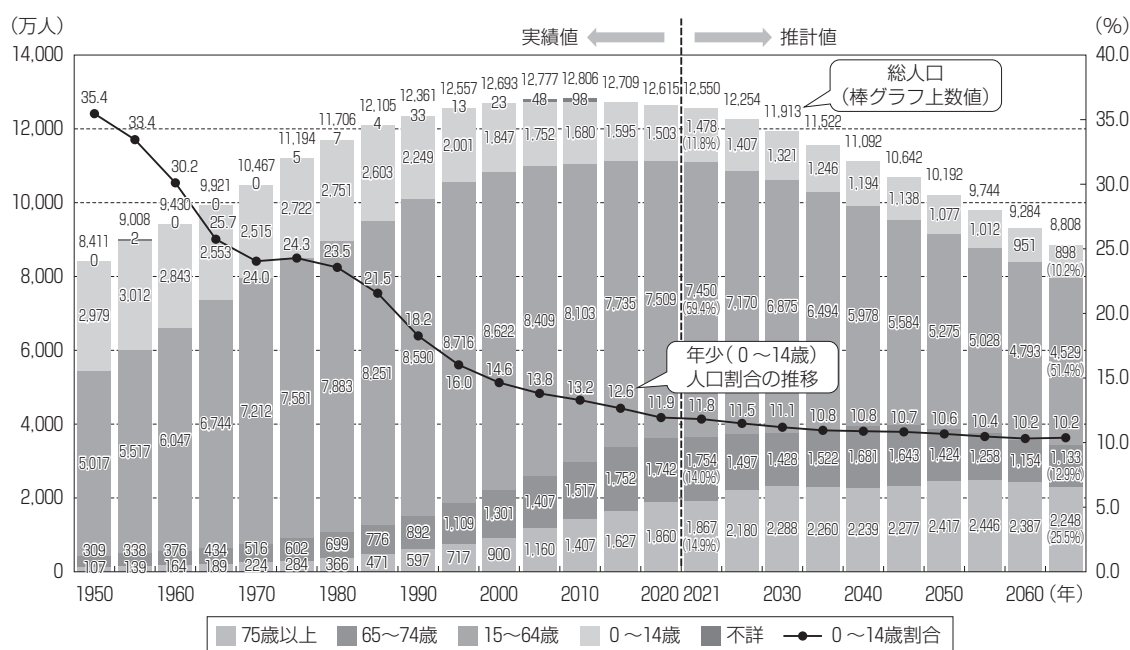


図1-2 わが国の総人口および人口構造の推移と見通し

資料：2020年までは総務省「国勢調査」（2015年及び2020年は不詳補完値による。）、2021年は総務省「人口推計」（2021年10月1日現在（令和2年国勢調査を基準とする推計））、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果から作成。

注：百分率は、小数点第2位を四捨五入して、小数第1位までを表示した。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

出典：内閣府『令和4年版 少子化社会対策白書 概要（PDF版）』2022年 p.2

1 現代の子育て支援環境と

2 子どもへの権利に基づいた子育て支援

3 保育者が基本的な子育て支援を行う

4 保育者の特性に基づいた子育て支援

5 相談支援に求められる視点

6 支援者の展開過程

7 職員間の連携・協働

8 社会資源の活用と自治体・関係機関との連携・協働

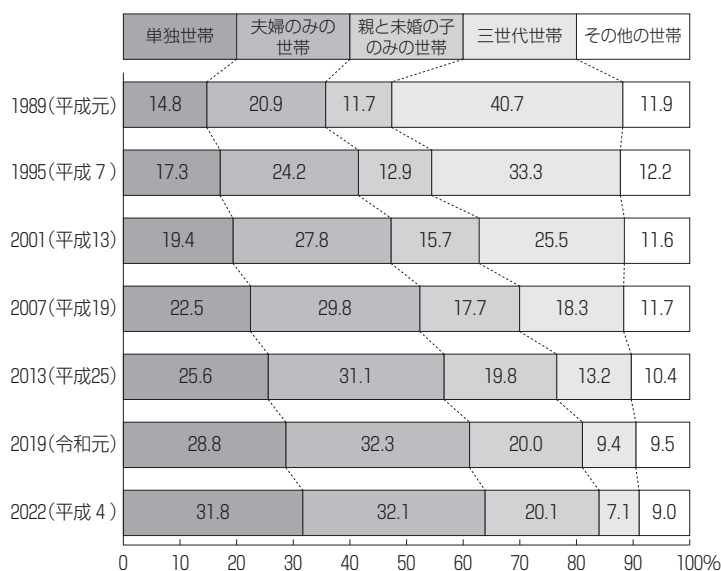


図 1 - 3 世帯構造の推移

注 1：1995（平成 7）年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2：2016（平成 28）年の数値は、熊本県を除いたものである。
 3：2020（令和 2）年は、調査を実施していない。
 4：「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。
 出典：厚生労働省「2022（令和 4）年 国民生活基礎調査の概況」2023 年 p.3 を一部改変

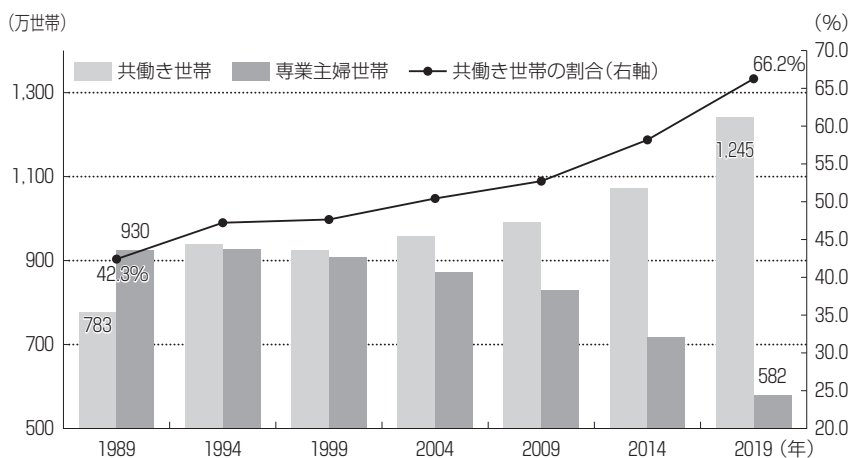


図 1 - 4 男性雇用者世帯のうち共働き世帯と専業主婦世帯の推移

資料：2001 年以前は総務庁「労働力調査特別調査」（各年 2 月）、2002 年以降は総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」より作成。
 注：「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とは調査方法、調査月等が相違することから時系列比較には注意を要する。
 「専業主婦世帯」とは、2014 年までは夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。2019 年は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口又は失業者）の世帯。共働き世帯の割合は、男性雇用者世帯に占める割合である。
 出典：厚生労働省「令和 2 年版 厚生労働白書」日経印刷 2020 年 p.34



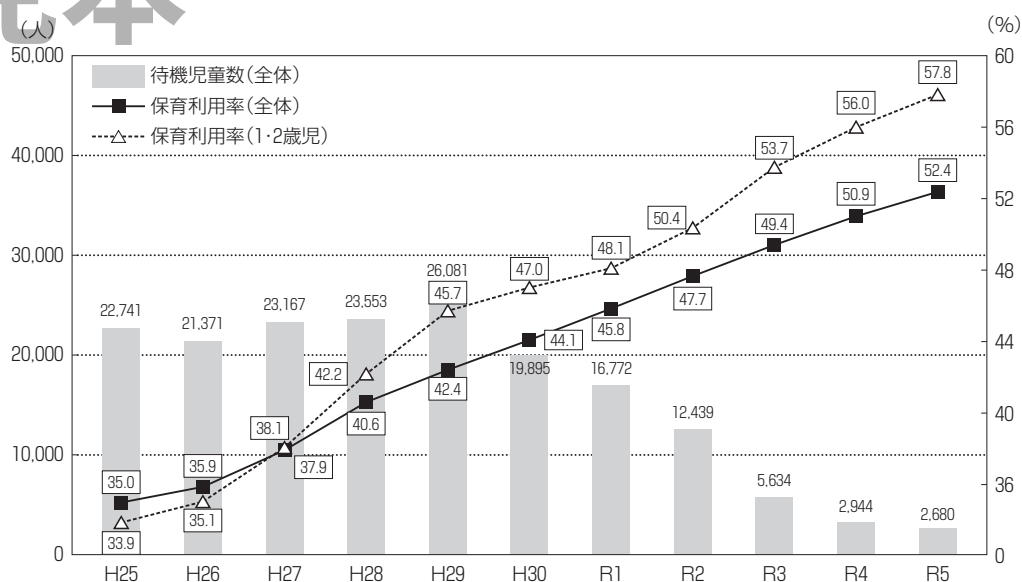


図1-5 保育所等待機児童数および保育所等利用率の推移

出典：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」

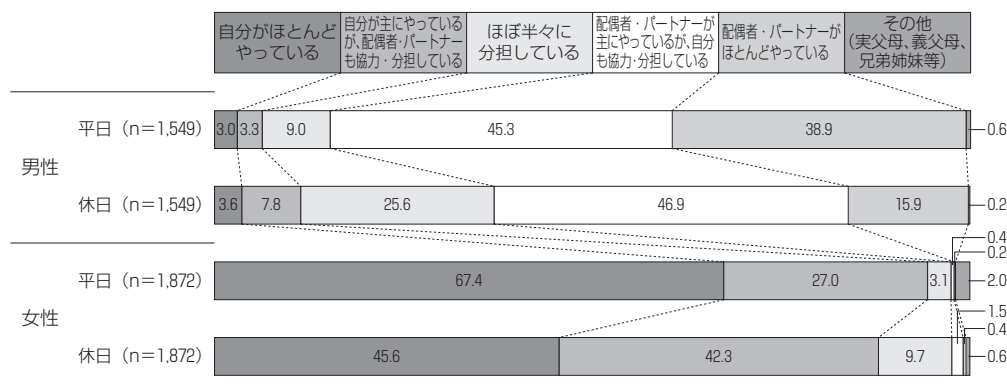


図1-6 子育ての分担

出典：「令和2年度 文部科学省委託調査『家庭教育の総合的推進に関する調査研究—家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査—』報告書」2021年 インタジェリサーチ p.1

1 現代の子育て環境と

2 子どもへの権利に基づいた子育て支援

3 保育者が行つた子育て支援の基本的な事項

4 保育者の特性に基づいた子育て支援

5 保育者への相談支援の求められる点

6 保育者の展開過程

7 職員間の連携・協働

8 社会資源の活用と自治体・関係機関との連携・協働

3 — 子ども・子育てに関する経験や知識の希薄化

現代の保護者たちの多くは、“子育ては大変”という風潮のもと、実際に自分が「親」となり子育てをする中で、やはり大変さを実感しながら、日々わが子と向き合っています。子どもから、喜びや感動を得る体験もあるはずですが、子育てを語る中で「大変さ＝悩みや不安」がそれを上回る状況に陥る保護者が多いようです。図1－7では、子育ての悩みや不安を「いつも感じる」「たまに感じる」と回答した割合が、男性では61.8%、女性では、76.4%となっており、その割合は非常に高いといえるでしょう。具体的な内容は、「しつけの仕方」「生活習慣の乱れ」「接し方」などの親としての基本的な姿勢に関すること、「子どもの健康や発達について」「子どもの気持ち」などの子どもの発育・発達に関すること、「時間の使い方」「経済的な問題」などの家庭生活の基盤に関すること、その他、周囲との関係性に関することなど、非常に多岐にわたります（図1－8）。

さらにその実情を探ると、悩みや不安は常にあるものの、その気持ちに日ごろ寄り添ってもらう相手が少ない状況が見えてきます（図1－9）。核家族世帯のような、同じ生活空間に子育ての先輩（自分の親や祖父母）がいない場合は、子育てに関して相談したり聞いたりする環境はありません。図1－9の調査結果からも分かるように、日常生活の中での心の拠り所となるのは、お互いに試行錯誤の中にある配偶者になります。次いで自身の親で、その他のほとんどが親戚関係に委ねています。女性に関しては友人・知人がその対象になる場合も一定の割合であります。保護者（多くの場合母親）は不安を抱いても打ち明ける相手が少なく、子育てのほぼすべての事柄を抱え込んで生活している姿が浮かび上がってきます。

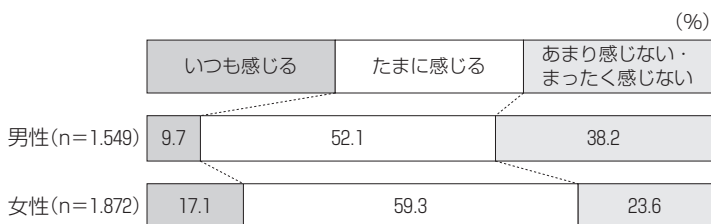


図1－7 子育てについての悩みや不安の程度

出典：図1－6に同じ p.3

